



(大磯町大磯のサイト)

サイノカミは、相模にいくつあるのだろう？

どうして火祭りをするんだろう？

不思議な神様、サイノカミの正体を探る！

サイ ノ カミ

秋期特別展「相模の道祖神」開幕

会期：10月9日(土)～11月23日(火)

たとえば、半分に欠けた双体道祖神が展示してあります。長い歳月の間、何かがぶつかって欠損してしまったのでしょうか。毎年1月14日が来る度に道祖神の損傷は激しくなりました。それを承知で、痛み続けなければいけない理由がありました。

大磯の左義長をご覧になったことはありますか。左義長の特徴はいくつもありますが、何ととっても燃え盛るサイトの火の雄壮さでしょう。炎を見上げていると気が晴れ晴れとしてきます。相模では、サイノカミの火祭りをサイトバライとかサイトヤキといいます。サイトを焼き払うことから付けられた呼び名です。サイトを燃すことが重要で、火は高く大きく燃えるほど良いとされました。だから、競い合って大きなサイトをこしらえました。サイトを燃すのも道祖神が損傷しているのも同じ理由によります。答えは、展示をご覧になればおのずと分かるはず。納得していただけるかどうかは別ですが・・・

(次のページへ続く)

博物館でも、大磯の方々のご協力でかわいいサイトをこしらえました。サイトはサイトバライのシンボルです。サイト無くしてサイノカミを語ることはできません。

< 記念行事 >

記念講演会「相模の道祖神」

日時：10月24日（日）13:30～15:30

講師：小川直之先生（國學院大學助教授）

会場：博物館講堂

参加：自由

観察会「相模の道祖神めぐり」

期日：11月13日（土）10:00～15:00

場所：秦野市（予定）

定員：30名

参加：10月末日までに往復はがきで申し込む



秋期特別展「相模の道祖神」記念講演会

10月24日、特別展記念講演会「相模の道祖神」が、國學院大學文学部助教授の小川直之先生を招いて開かれました。会場の博物館講堂には、82名の方々が詰めかけ、熱心に聞き入っていました。

講演は、前半が「相模の道祖神の特色」、後半が「古文献に記された道祖神」の二つに分けて話されました。「相模の道祖神の特色」について、第一に道祖神の姿が石に彫ってあることを挙げ、その理由は、全国的に見ると双体道祖神石像はごく限られた範囲にしかなく、藁人形や木製の道祖神を祀る地域も少なくないためであると述べられました。また、初期の双体像が地蔵のような僧形であるのは道祖神と地蔵が習合したためであると説かれました。さらに、文献上では10世紀にすでに道祖神信仰はあったのだから、17世紀後半に双体像が出来る以前も、道祖神は何らかの形で祀られていたはずだと主張され、石像以前の形について、(1)石積み(全国各地)、(2)柴折り(西日本)、(3)藁人形(東北地方)の三つの予測が立てられると述べられました。

「相模の道祖神の特色」の第二に、1月14日の火祭りが道祖神の祭りであることを挙げ、理由は、小正月に火祭りを行うのは全国的だが、これが道祖神の祭りであるのは、双体道祖神が祀られている関東・甲信越だけであるためと述べられました。そして、相模の道祖神信仰を構成する要素を次の9点に整理されました。(1)目一つ小僧(疫病神)の伝説と結びついていること、(2)オンベを作ること、(3)セイトバライを行うこと、(4)五輪塔片を祀ること、(5)サイノカミが巡行すること、(6)子供組の行事であること、(7)アクマツバライをすること、(8)子授け・性の神であること、(9)村境や辻に祀られることです。この中で、オンベは神迎えと神送りのための依り代であると明快に解釈され、三角錐の塔(セイト)が山車の山鉾と似ていることやセイト笑いで囃すことは宮廷儀礼との関連が感じられると指摘されました。

後半は、古文献をもとに道祖神の神名を整理され、「道祖神」は中国から来た「道祖」という漢語をサエノカミに当てて出来た言葉であると説かれました。10世紀前半の『和名抄』にはいわゆる道祖神的な性格を持つ神として、フナドノカミ、タムケノカミ、サヘノカミの三神が扱われているが、『今昔物語集』など11世紀の文献になると、それぞれの神の祀り方がごちゃ混ぜにされ、すべて道祖神に集約されていったと指摘されました。また、『古事記』に現れるフナドノカミが、あの世とこの世の境に位置する神であることをふまえ、お飾りなどを道祖神に納めるのは、あの世とこの世を行き来する道祖神が清らかな場所へ持って行ってくれるからだと言われました。



秋期特別展 さいのかみ

「相模の道祖神」

11月23日まで開催中

入場無料

金曜日は夜7時まで開館！

特別展解説図録

相模の道祖神とその祭りのことが何でも分かる百科事典！ぜひお求めください。

頒価1000円。博物館受付まで。

平塚市文化財特別公開

主催：平塚市教育委員会

日：10月30日～11月7日

会場：二階展示室情報コーナー

このほど平塚市指定重要文化財に指定された神田寺所蔵の「涅槃図」と「十王図のうち五道転輪王」などの絵画を展示します。